



東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

4 サクラに願いを 4月号

福玉便り

ふく たま だより

2015年4月1日(水)発行

通巻 第35号

発行『福玉便り』編集委員会 (一社)埼玉県労働者福祉協議会・NPO法人ハンズオン埼玉・生活協同組合コープみらい埼玉県本部

編集デザイン:NPO法人ハンズオン埼玉メール:fukutama@431279.com

連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会:〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4-21 TEL048-833-8731

印刷協力:富士ゼロックス埼玉 端数倶楽部



3月11日、上尾シラコバト団地・東日本大震災に咲く会ひまわりの主催で、4度目の東日本大震災追悼式が開催されました。一昨年の追悼式で植えた3本の河津桜と、昨年の追悼式で記した寄せ書きの旗の前には、今年も100人近い参列者が集まりました。



また新しい一日へ
上尾シラコバト団地での
東日本大震災追悼式

参列者たちが「嫌なこと」をお札に書いて火にくべた。3月11日前後は震災・原発事故に関する報道が流れるのに、時が経つとすぐにマスコミの関心は薄れてしましますが、皆さんは毎日が生活再生・復興の日々を送っているらっしゃると思います。決して一人ではないので、一緒に支え合っていきましょう」とエールが寄せられました。宮城県東松島市から新座市に避難し、新座さいがいつながりカフェの被災者代表を務める福地さんからは、「避難

のち、岩手県大船渡市の小島さんの言葉で開会が宣言されました。続いて、4人の方々から式辞をいただきました。上尾市役所の猿田さんから、市が支援している陸前高田市と本宮市の復興状況や、市内の避難者の

した当初は心も身体もボロボロでしたが、もっと辛い思いで避難している方々もたくさんいることがわかり、『みんなのために何かできないか』と活動してきました。東北人の誇りを忘れずに、助け合って頑張りましょう」と呼び掛けられました。また、南相馬市から熊谷市に避難している高橋さんは、津波で亡くなったご親戚や避難生活中に亡くなったお父さんのことをお話され、「こんなことがなければ、実家で隣組の人たちと一緒に葬儀を挙げられたのに、それができなかったことが悔しいです。それでも、自立のために頑張っていたいです」と述べられました。

そして、シラコバト団地前自治会長の宮下さんによる笙の演奏のなか、14時46分、被災地の方向に向けて黙禱を捧げました。



第2部の交流会。みんなで歌いました。



主催者あいさつ 橋 光頭さん



交流会会場でヤキイモタイム



超甘いヤキイモに思わずにっこり

さん(浪江町)から、「普段は震災当時のことを振り返らずに、復興に向けて自分のできることを取り組んでいますが、それができるのもこの1日があるからです。こまめに辿り着いたことに感謝しつつ、今日を共有して、また新しい一日へ向かっていきたいです」とご挨拶がありました。参列者全員に「希望の鶴」が配られて、追悼式は閉会となりました。

震災によって亡くなられた1万5,891人、行方不明のままの2,584人、避難生活中に亡くなられた3,244人の方々への哀悼の意を込めつつ、次への想いを共有する3月11日となりました。(編集部・原田)

最後の「ふるさと交流サロン」(熊谷)

ふるさと交流サロンは、2011年10月に熊谷市で立ち上がったサロンです。それ以来、2カ月に1度の頻度でコープみらい熊谷店・コープメイト室で交流会を開催するとともに、夏には浅草バスツアーや鬼怒川温泉バスツアーなども実施して、熊谷市や周辺地域に避難した方々が楽しく集



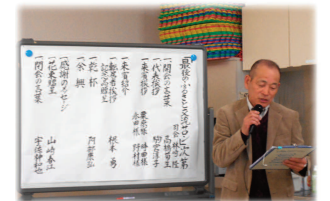
2015.02.28

言っても決して悲しい雰囲気ではなく、この日は34人の参加者・来賓者で会場はいつぱいになり、和気あいあいとした雰囲気ですみました。

冒頭で、代表の駒宮さんから、「退職した矢先に東日本大震災が起きて、『自分だけが楽しくいいのだから、熊谷に



来た方々に何かできないだろうか」と避難所を訪ねました。そして、『ふるさとという言葉で



話せる場所を作りたい』とふるさと交流サロンを立ち上げました。最初は不安もありましたが、場ができれば主役は避難者の皆さんで、運営委員に入って一緒に企画を立てていただけようになりました。こうして、最初はヨチヨチ歩きだった交流サロンも、21回目を迎えました。1回ずつ歳を取ったと考えると、今日

で21歳。成人して、当初の目的は達成できたと思えます。今までありがとうございました」とメッセージが述べられました。

続いて来賓の方々のご挨拶があり、昼食と余興を挟んで、榎葉町から熊谷市に避難して、3月にいわき市に移られる根本さん一家に向けて記念品の贈呈式が行われました。そして、南相馬市の林崎さ

んから、「駒宮さんには、避難した私たちに自ら『母』として名乗り出して、希望の光を与えてくれました。駒宮さんの『子どもたち』の成長と自立を見守ってください」と、感謝の言葉が送られました。

ふるさと交流サロンはこの日で一旦区切りを迎えましたが、熊谷での交流が終る訳ではありません。「皆さんの生活再建はこれから本番だと思えます。今後は一人の友人として、皆さんとお付き合いしていきたいです」と駒宮さん。何かの形で、楽しい会を開いていきたいそうです。(編集部 原田)

「みんなの家@ふくしま」がオープンします。



「みんなの家」とは・・・?

震災から4年が経ち、5年目を迎えた福島で、多世代のコミュニティハウスがオープンします。

福島で子育てをしているすべてのママ、パパ、お子さんが集う子育てひろばからスタートしますが、ゆくゆくは福島の子どもや若者たちが集ったり、一緒に遊んだり、時にはイベントを行ったり、そこに、地域の方々も入っていただいて、赤ちゃんからお年寄りまでみんなが集う場になります。

自主避難から戻ってきた親子が集う、「ママカフェ@ふくしま」も開催されるそうです。ちなみに、「ママカフェ」は、福島県内5カ所で開催されています(福島、郡山、白河、いわき、南相馬)。

問合せ：NPO 法人ビーンズふくしま TEL：024-572-4690

1月の冬晴れの土曜日。「あぜがみりんご保育園」(越谷市)を訪ねました。『福玉便り』の共同発行主体の一つである認定NPO法人ハンズオン埼玉が展開するキャンペーン「おとうさんのヤキイモタイム」(注)に園からお申込をいただき、やりとりの中で、「実は私も、福玉便りの読者です」と声をかけてもらいました。そこで、電話をくださった同園主任保育士の鈴木佳代さんにお会いすべく、焼き芋の煙があがる園庭におじゃましました。(編集部・西川)

鈴木佳代さん

(鏡石町↓越谷市)

東京の下町育ちで、結婚して夫の両親の住む福島に移り住み子育てをしています。白鳥がいて、カエルがいて、つばめをねらった蛇が家にはいつてきて…はじめて、自然とともに暮らすことができて幸せでした。



分に言い聞かせてはいたのですがだんだんとつらくな…。夫の会社が地震で被災し、再建不可能になったこともあって、2011年夏、中1、小6、小4の3人の子と夫と犬と一緒に、私の両親が住む越谷へ避難してきました。犬と一緒に暮らせる住宅を探すのに苦労しました。

震災前まで幼稚園に勤めていました。子どもたちと離れるのはとてもつらかったです。しかし、信頼している園長先生が、

震災直後、水道も止まったまま、ガスも使えず3週間すごしました。小6の長男の卒業式も延期になりました。その後、自宅の前が、がれき置き場になったこともあり、自宅の庭の芝の線量が通常の60倍だったんです。大丈夫だよ、と自

園長先生が、



応援してください、送り出していただきました。そのことには本当に感謝しています。いまでも、その園長先生とはときどきお会いしています。ずっと福島で育って来た方や、仕事で離れられない方、いろいろな方がいらっしやいますよね。私も夫の会社が倒産していなければどうしていたかは、わかりません。

その後、11年の秋に、ハローワークの紹介で、越谷市役所の臨時職員となり、越谷市内に避難されている方を一軒ずつ訪ねました。家を流されたり、親族を亡くした方、帰るに帰れない方の事情やお気持ちを聴く中で、自分より苦労している人がこんなにいる、くよくよしてはいけません、と思いました。



その後、転職をしたりしていたのですが、犬を散歩していたとき、建設中のこの保育園

を見てくださり、送り出していただきました。そのことには本当に感謝しています。いまでも、その園長先生とはときどきお会いしています。ずっと福島で育って来た方や、仕事で離れられない方、いろいろな方がいらっしやいますよね。私も夫の会社が倒産していなければどうしていたかは、わかりません。



その後、11年の秋に、ハローワークの紹介で、越谷市役所の臨時職員となり、越谷市内に避難されている方を一軒ずつ訪ねました。家を流されたり、親族を亡くした方、帰るに帰れない方の事情やお気持ちを聴く中で、自分より苦労している人がこんなにいる、くよくよしてはいけません、と思いました。

訓練はつらいようですが、多くの出会いがあって、そして、子どもたちに支えられて、今の自分がいます。「がんばっているね」と自分を認めてくださる方がまわりにいたからこそ、次の一歩につながっていったと思います。そうでなければ、私も次の一歩をだせていたかどうかから言えません。いまままだいろいろの方がいらっしやると思います。よい出会いがありますように。私もできることがあればしていきたいです。

県外の区域外避難(自主避難)のママたちの様子

福島市で行われた「第三回県外避難者支援研修交流会」

3月14日、福島市の「ラッセ ぶくしまに、宮城、山形、新潟で区域外避難(自主避難)のママたちと関わりのある方が集まりました。

新潟の方からは、「一人で子育てを担っている分悩みも多い」「ママが体調を崩すことが増えている」「電話・個別相談対応を希望する方が増えている」「新潟の生活には慣れてきた」「除染や食に関して安心できなかった」「帰りたい」「福島に住む夫や両親が心配」というお話がありました。

座談会を通してママたち自身の言葉を伝えてくださった



のは、山形から来た方。

「子どもの健康を何より優先させた」「放射能の話・検査のことはなかなか本音で語れない。みんなが自分の中に抱えこんでいるように思う」「住宅の補助は本来にありがたい。避難する、帰らないと決めるポイントになっていく」「今までの生活や生き方とは違っている。ひとつの生き方ではないかと考えている」「正しい情報は何なのか、難しい」「ほしい情報は自分で集めている」「夫とは『帰る』『帰らない』という話はなるべくしないように避けてしまっ」「避難するときは、子どもに恨まれてもいいから避難する、と私が決めた。戻る時期、時間の決断は、子どもにさせたいと思っている」

—— たくさんのママの声を教えてくださいました。

また、宮城の方からは、つみきのワークショップを郡山に帰還したお母さんたちと行った報告や、「女性と防災せんだいフォーラム」の報告がありました。

福島に帰る、という選択をされた方の居場所づくりをしている福島県の「ままカフェ」の

報告もありました。その方も、一時期、避難をされていたママ。ご自身の身近な人との会話を紹介してくださいました。

「母の介護があったから避難できなかったよ」「週末は山形に避難していたよ」「秋田に避難していたけれど、家族が離れてしまつてつらかった」—— 「みんな状況は違つたけれど、傷ついたり、大変だったよね…。みんな子どものことを一番に考えたよね」と、しめくられました。

また、埼玉の報告として、当事者と埼玉のママが会つて生まれた「ぼろろん」の活動のことをお話してきました。

しなくてもよかった「選択」をしなくてはならない理不尽さ、それでも、どう子育てをしていけばいいのか、それぞれが悩みながら避難先で前に進んでいるママたちの姿、そのママたちと一緒に考えたい、という人たちの温かさ—— 涙ながらに報告をされる方もいらつしやり、真剣で、あたたかい研修交流会でした。

(編集部・吉田)

ふくしま就職応援センター

ふくしま就職応援センターは、福島県が県内5箇所に設置した相談窓口で、「福島での新たな生活を考えている」方の仕事さがしのトビラを開くお手伝いをします。まずは、お電話ください。

こんな声にきてきました。

- ・福島県内で仕事をしたい、どうしたらいいのか教えて
- ・資格(保育士、医療事務 etc)を活かした仕事がしたい
- ・子どもが小さいので、短時間のパートを探している
- ・お年寄りの面倒を見るので、住まいの近場がいい
- ・こんな歳ではももっても仕事がないのでは

○問い合わせ先 ふくしま就職応援センター郡山窓口

TEL:024-925-0811 FAX024-925-0812

月～土曜日 10:00～19:00 日・祝休み

埼玉弁護士会の訪問相談はじまります(無料相談)

原子力事故の賠償で困ったとき、どこに相談したらいいのかな？

相談費用 無料(原子力損害賠償・廃炉等支援機構の委託で行っています。)

相談時間 1回1時間(継続相談可)

相談場所 弁護士事務所での相談またはご自宅への訪問相談(条件あり)

TEL048-863-5255

予約受付時間 平日 9:00～17:00

※ご連絡いただいた後、相談担当の弁護士から個別にご連絡をいたします。

埼玉弁護士会

出演者、参加者双方から双方へ
さまざまな質問や意見が出されました。

「今と未来を考える」対話集会在開催されました

昨年10月に加須市で開催された「ここから茶会」に続き、1月24日、上尾市文化センターにて、専門家・住民・

国・東電と「今と未来を考える」対話集会在開催され、およそ40名の方が参加されました。

出席された方たちは、日々、疑問に思っていること、専門家・国・東電に聞きたいことを質問用紙に書き込み、それに対して、専門

家・国・東電がそれぞれの意見や対応策を話しました。

例えばこんな質問や対話項目が――

「ダムの水は安全ですか」「帰還できる状況とはどういうことを言うのですか」「国の法律は1ミリシ

ベルト/年で抑えることになってきたはずだけれど、いつから、どうして20ミリシベルト/年になったのですか」「避難前の土地の良さは

何ですか」「除染の効果はどうですか」「母屋と離れの賠償について教えてほしい」「仮置き場を毎日見ながら生活できますか」「木材の

汚染はどうなっているのですか」「学校で放射線の教育をしていますか」「再飛散の原因は解明されましたか」

――。中には「ロボットは被ばくしないのですか」という子どもの素朴で優しい疑問もありました。

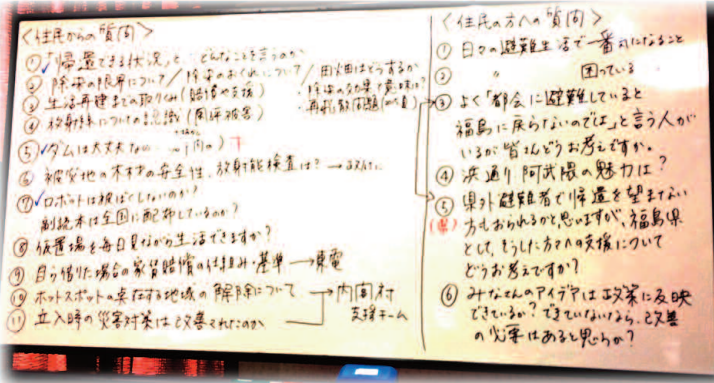
集会の最後には、東京大学の森口祐一先生から

「来る度に勉強になりました。お顔なじみになった方もいらつしやいます。ここにい

らうつしやる避難している方々はほんの一握り。これをどうやって広げていけばいいのか。どう展開しているのか。いい例を作って、真似してもらえように、次につなげていければ……と思います」というお話がありました。

今回の開催は未定とのことでしたが、主催、想いの篠原さんは、「こういった話し合いの場が広がってほしいです」とお話されています。

(編集部/吉田)



越谷避難者の会が市長に要望書を提出

2月24日、越谷避難者の会(代表石上清さん)は、越谷市役所を訪ね、高橋努市長に対して「5項目の要望」を行いました。

要望の内容は、越谷避難者の会に参加する被災者が議論してまとめたものです。

- (1) 上下水道料金の免除を来年度も継続して下さい。
- (2) 東日本大震災避難者支援員を来年度も配置して下さい。
- (3) 市営住宅への入所に配慮して下さい。
- (4) 越谷市の臨時職員等の採用をして下さい。
- (5) 越谷避難者の会への支援をお願いします。

と言ったものでした。(2)の「東

日本大震災避難者支援員」とは、越谷市が避難者を雇用し、市内に避難する方々を訪問し、見守る活動で、「避難先自治体が支援員を配置する」という画期的な活動です。

また、越谷避難者の会は「住宅問題」も取上げ、市営住宅への入所についても要望しています。

同席した高橋市長からは、具体的な回答はなかったものの、今

後も支援を継続することを約束してくれました。

避難者一人一人が個々に行政に要望することは大変です。しかし越谷避難者の会は、越谷市に避難している250名を代表して市長に面会し、率直な気持ちを伝えました。

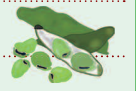
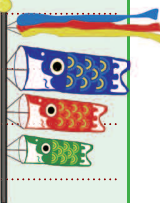
避難先で「避難者が組織を作ることの意義を見ることができ

ます。行政への働きかけは、2013年に鴻巣市に対して「思い、懇談会を開催して、避難者からの要請を行いました。

また、熊谷市や入間市においても「上下水道料金の減免」継続や「復活」を求める行動がありました。

今後の長期にわたる避難生活を考えたとき、「埼玉県(避難先自治体)にはお世話になっていきます」というだけではなく、避難者自身が「今、何を求めているのか」具体的に声を上げていくことが大切です。

その意味で、今回の越谷避難者の会のような行動が埼玉県の各自治体に広がることを期待しています。(文責 永田信雄)



1日(金)	21
2日(土)	8
3日(日)	
4日(月)	
5日(火)	
6日(水)	
7日(木)	3 17
8日(金)	21
9日(土)	
10日(日)	11
11日(月)	
12日(火)	
13日(水)	
14日(木)	1 19
15日(金)	21
16日(土)	24
17日(日)	15 27
18日(月)	
19日(火)	
20日(水)	
21日(木)	2 12 18
22日(金)	21
23日(土)	
24日(日)	25
25日(月)	
26日(火)	
27日(水)	
28日(木)	19
29日(金)	21
30日(土)	28
31日(日)	

5 **ぴえろの遊び広場**
 4月25日(土)
 子どもの遊びとお母さんたちのサロン
 10:00~14:00
 騎西コミュニケーションセンター
 加須市 sai.jacdp@gmail.com
 日本臨床発達心理士会 埼玉支部

4 **寄り添いステーション**
 ころっせ くわっせ双葉
 各種イベント、マッサージ、手作り品、地元の野菜などのコーナーがあります。
 不定休 13:00~
 寄り添いステーション騎西
 加須市正能 11-5 ☎ 090-1650-2874 (富沢さん)

3 **双葉町老人クラブ女性会**
 &さいがいつながりカフェ
 4月2日(木) 5月7日(木)
 定例サロン
 月1回 9:30~11:30
 いきいきサポートセンター
 (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
 ☎ 080-5532-7380 (薄井さん)

8 **東日本大震災に咲く会**
 ひまわり
 4月4日(土) 5月2日(土)、会合
 シラコバト団地を中心に情報交換会と物資配布を行っています。
 毎月第1土曜日 10:00~12:00
 シラコバト団地第一集会所 上尾市
 ☎ 048-607-6723 (団地自治会事務所)
 ☎ 080-3091-6215 (橋さん)

7 **向原団地被災者の会**
 4月、5月はお休みです
 小さな会です。上尾近隣の方、つながりましょう(^)！
 毎月第2土曜日 18:00~
 向原団地集会所
 上尾市 ☎ 080-6044-2922 (富永さん)

6 **負けねっちゃきり**
 石巻から伊奈町に避難されている高橋さんが呼びかけています。どなたでもどうぞ。
 伊奈町 ☎ 090-7244-9267 (高橋さん)

12 **お茶っこふるさと会**
 4月22日(水)、5月21日(木)
 定例サロン
 毎月第4週の水曜日 10:00~12:00
 ネット21 久喜事務所
 久喜市本町 2-1-59
 ☎ 090-6855-7140 (木幡さん)

11 **羽生つながりカフェ**
 ゆっくりお茶を飲みながらお話しませんか？
 毎月第2日曜日 13:00~15:00
 パープル羽生 和室
 羽生市 ☎ 080-5532-7380 (薄井さん)

9 **"想い"**
 情報紙"想い"の発信や賠償説明会などを不定期に開催しています。
 鴻巣市 345shinohara@ezweb.ne.jp (篠原さん)

10 **ふるさと交流サロン**
 21回で閉会しましたが、再会の機会をつくりたいと思います。
 熊谷市 ☎ 080-5430-5452 (駒宮さん)

15 **ひだまり広場**
 4月19日(日)、5月17日(日)
 月1回 参加費無料 12:30~16:30
 ほっと越谷(北越谷駅東口1分)
 ☎ 090-2433-6057 (廣瀬さん)

14 **春日部**
 つながりカフェ
 4月以降の日程は <http://431279.com> をご覧ください。
 毎月1回 13:30~16:00
 コーププラザ春日部
 ☎ 048-829-7400 (SSN)

13 **杉戸元気会**
 つつじの里サロン
 4月2日、9日、16日、23日、30日
 定例サロン
 毎週木曜日 13:30~15:30
 国家公務員宿舎杉戸住宅(つつじの里サロン) 杉戸住宅 6-301
 ☎ 0480-33-3455 (佐藤さん)

16 **越谷避難者の会**
 4月4日(土) 12:00~お花見
 越谷市
 ☎ 090-9425-2001 (石上さん)

21 **梨の実スペース**
 大熊町コミュニティ支援関東事務所
 大熊町出身の復興支援員もお待ちしていますのでぜひ遊びにきてください!! 金曜日以外にお越しの際は、事前にご連絡ください。
 毎週金曜日 10:00~16:00
 大熊町コミュニティ支援関東事務所
 さいたま市浦和区仲町 2-15-4
 ☎ 048-711-7135

20 **つながろう!放射能から避難したママネット@埼玉**
 定例サロンはしばらくお休みします。
 bjskr146@yahoo.co.jp (木村さん)

22 **浪江のしゃべり場**
 浦和の8豊間
 浪江町の復興支援員が常駐しています。お気軽に遊びに来てください。
 月曜日~金曜日 10:00~17:00
 浪江町復興支援員 埼玉事務所
 さいたま市
 ☎ 048-833-8731 (埼玉労福協)

26 **お茶のみ交流会**
 市内に避難してきた方々の「お茶のみ交流会」を2か月に1回のペースで実施中。
 隔月1回 10:00~12:30
 ふじみ野交流センター2階視聴覚室
 富士見市
 ☎ 049-251-2711 (富士見市安心安全課)

27 **おあがんなんしょ**
 4月19日(日)、5月17日(日)
 定例サロン
 1"いろいろぱた" 本音で語り合う時間
 2"お茶にすっぺ" ワイワイ楽しい時間
 月1回
 ふじみ野市 フクトピア
 ☎ 090-5345-8408 (松館さん)

28 **ここカフェ@川越**
 4月19日(日) 5月30日(日)
 心の内を話せる場、お子様連れも大歓迎です。
 *昼食をご用意しますので、お電話くださいね。
 毎月1回 10:00~15:00 JUN ホール
 ☎ 070-5080-4494 (鈴木さん)

- 春のお出かけ、いかがですか お花見情報**
- | | | |
|--------------------|----------------------|-------------------|
| 1 大宮公園 (さいたま市大宮区) | 9 長瀬 (長瀬町) | 17 こだま千本桜 (本庄市) |
| 2 熊谷桜堤 (熊谷市) | 10 東武動物公園 (宮代町) | 18 県営狭山稲荷公園 (狭山市) |
| 3 清雲寺 しだれ桜 (秩父市) | 11 与野公園 (さいたま市中央区) | 19 鴻巣公園 (鴻巣市) |
| 4 西武園ゆうえんち (所沢市) | 12 岩槻城址公園 (さいたま市岩槻区) | 20 元荒川堤 (越谷市) |
| 5 天覧山 (飯能市) | 13 羊山公園 (秩父市) | 21 城山公園 (桶川市) |
| 6 権現堂公園 (幸手市) | 14 所沢航空記念公園 (所沢市) | 22 みさと公園 (三郷市) |
| 7 国営武蔵丘陵森林公園 (滑川市) | 15 飯能市名栗湖 (飯能市) | 23 杉戸西近隣公園 (杉戸町) |
| 8 都幾川桜堤 (嵐山町) | 16 若泉公園 (本庄市) | |

東北・福島→埼玉=福の玉 が生まれ、
ゆっくりふくらんでいきますように...

福玉

ふく たま

マップ&カレンダー

1 双葉町民によるボランティアカフェ
 4月9日(木) 春の祭
 5月14日(木) 手作り柏餅
 (双葉夢工房の懐かしい柏餅を再現)
 月1回 10:00~15:00
 いきいきサポートセンター
 (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
 加須市騎西 501-13 ☎ 048-829-7400(SSN)

2 社協と地域と生協のサロン
 味噌汁とおにぎり地域の方々との情報交換の場をつくっています。お気軽にお越しください。
 毎月第3木曜日 10:00~15:00
 いきいきサポートセンター
 (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
 加須市騎西 501-13

- 4月
- 1日(水)
 - 2日(木) **3 13**
 - 3日(金) **21**
 - 4日(土) **8 16 24**
 - 5日(日)
 - 6日(月) 
 - 7日(火)
 - 8日(水)
 - 9日(木) **1 13 17 19**
 - 10日(金) **21**
 - 11日(土)
 - 12日(日) **11** 
 - 13日(月)
 - 14日(火)
 - 15日(水)
 - 16日(木) **2 13 18**
 - 17日(金) **21** 
 - 18日(土)
 - 19日(日) **15 25 27 28**
 - 20日(月)
 - 21日(火)
 - 22日(水) **12** 福島原発さいたま訴訟
 - 23日(木) **13 19**
 - 24日(金) **21 24**
 - 25日(土) **5 32**
 - 26日(日) 
 - 27日(月)
 - 28日(火) **851PM「さいたまから支えよう」**
 - 29日(水)
 - 30日(木) **13**



17 つながりの会
 4月9日(木)・5月7日(木)
東北復興支援販売
 毎月第2木曜日 10:30~16:30
 物産・観光情報センター
 (草加駅西口徒歩1分) 草加市高砂1-1-1
 ☎ 048-932-6770 (草加市社協 地域福祉担当)

18 ひまわりの会
 4月16日・5月21日(木)
おしゃべりサロンと楽しい企画
 毎月第3木曜日 10:00~15:00
 やすらぎ会館(川口市社会福祉協議会)
 川口市南鳩ヶ谷 6-8-16
 ☎ 080-5431-0123 (島田さん)

19 さいがい・つながりカフェ
 4月9日・23日・5月14日・28日(木)
 心ゆくまでおしゃべりできます。お気軽にご連絡ください。
 月2回 木曜日 11:00~15:00
 With You さいたま 4F 和室
 (埼玉県男女共同参画センター・新都心駅7分)
 ☎ 048-601-3111 さいがい・つながりカフェ

23 和光3・11 つながりカフェ
 隔月で開催中です。お気軽にご連絡ください。
 和光市社会福祉協議会 ☎ 048-452-7606

24 新座さいがい つながりカフェ
 4月4日お花見・5月16日(土) 散歩
 月1回 土曜日 13:00~16:00
 国家公務員宿舎 集会室
 新座市 ☎ 090-2402-9155 (谷森さん)
 ☎ 080-6023-2799 (福地さん)

25 青空あおぞら
 4月19日(日) 春祭り
 1F 料理講習室&緑町中央公園
 5月24日(日) 保育付き・法律家による相談対応可能
 毎月第4日曜日 13:30~16:00
 新所沢公民館
 所沢市 ☎ 048-829-7400 (SSN)

29 鳩のつどい
 月2回 10:00~12:00
 JAXA 鳩山宿舎 108号 鳩山町
 ☎ 049-296-1241 (鳩山町健康福祉課)

31 相双ふるさとネットワーク
<http://namieimonikai.com/>

30 きずなの会
 毎月交流会を行なっています。
 雇用促進住宅 東松山市

32 福玉・謡曲の会
 4月25日(土)
 10:30~12:00 With You さいたま和室
 ☎ 080-5532-7380 (薄井さん)

0 福玉便り発送
 4月24日(金)
 13:30~
 おしゃべりにきてくださいわ。

福玉 募金
 ご協力ありがとうございます。
 『福玉便り』編集委員会
 連絡先:(一社)埼玉労働者福祉協議会
 電話 048-833-8731
 メール: fukutama@431279.com

福玉便り
 お送りします。
 ご希望の方に郵送します。
 ご連絡お待ちしております



避難住宅を考える⑨ 住み替え問題・福島県編

—住み替え対応は自治体によってバラバラ？—

「みなし仮設住宅…住み替え対応バラバラ 6〜130件」
(毎日新聞3月13日)

(毎日新聞3月13日)

住み替えの問題については、『福玉便り2015 号外号』の読者アンケートでも、住み替えの要望を含めた「暮らし方」の問題について、複数のコメントが寄せられています。

実は、この住み替え、国は福島県内に戻る場合を除き、原則認めていないのですが、「例外」として、一部の要望に、対応しています。実際に埼玉県でも、福島県との協議のうえ、これまでに10件の住み替えが認められています。

るようです。

たとえば、新潟県ではこれまでに130件、山形県では50件認められています。それとは対照的に、東京都や神奈川県では6件のみ、と差は歴然としています。

埼玉県では、福島県と協議をすることになっていますが、住み替えを認める最終判断は福島県に委ねられています。2012年夏頃からは、老朽化や家族関係の変化については、依然厳しい対応のままであるものの、「著しい不利益や危険がある場合は住み替えが可能」と、避難者の多い13都県(埼玉県含む)に通知されています。

埼玉県の住宅課の方は、「すべてが認められるわけではないけれど、要望は、お伺いします」と、真摯に対応してくださっています。

住まいの問題は、暮らし・命に関わる大切な問題です。今後、避難の長期化に伴い、住み替えの要望は増えるかもしれません。前向きに対応してもらえないことを願っています。(編集部・吉田)

す。しかし、明確な基準はなく、実は法令にも規定がないため、避難先の自治体によって対応が大きく異なっています。

住まいの問題は、暮らし・命に関わる大切な問題です。今後、避難の長期化に伴い、住み替えの要望は増えるかもしれません。前向きに対応してもらえないことを願っています。(編集部・吉田)

毎日新聞 記事URL <http://mainichi.jp/select/news/20150313k0000m040141000c.html>
<http://mainichi.jp/shimen/news/20150313ddm041040107000c.html>

NHK FMさいたま『福玉便り』コーナー

毎月第4火曜日 午後6時～午後6時50分
(FM85.1MHz秩父83.5MHz)



NHKさいたま放送局の「日刊さいたま〜ず」で毎月第4火曜日に『埼玉から支えよう』が放送されています。福玉便り編集部も企画に協力しています。
☆第4回放送は4月28日(火)午後6時～午後7時の間の「生放送」です。第5回放送は、5月26日(火)の予定です。

- これまでの放送
- ①1月27日放送 福玉便り編集委員会 永田信雄さん。テーマ「避難している人たちに必要な情報を」
 - ②2月24日放送 東日本大震災に咲く会 ひまわり代表 橘光顕さん。テーマ「団地での孤立防止の活動と4回目の東日本大震災追悼式について」
 - ③3月11日放送 埼玉県男女共同参画推進センター 瀬山紀子さん。テーマ「被災者同士のつながりを」

女性のための電話相談ふくしま 0120-207-440

通話料無料/全国共通番号

相談時間 月～金(祝日除く)10時～17時
主催:内閣府/福島県
協力:女性の自立を応援する会/いわきふれあいサポート/郡山市/いわき市
一人で悩んでいませんか?
眠れない、生活、DV、孤独感、家族、人間関係、仕事、将来の不安。被災している方はもちろん、被災者を支援している方からのご相談も対応します。秘密は厳守しますので、どうぞ安心してご相談ください。専門の相談員が担当しています(匿名でご相談いただけます)。

ありがとうございます!

本誌の印刷は、『富士ゼロックス埼玉 端数倶楽部』(社員ボランティア)の皆様にも全面的にご協力いただいております。



ありがとうございます!

「赤い羽根共同募金の災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(ボラサポ)の助成金をいただいで、発行しています。



●福玉募金の送金はこちらへ
郵便振替口座▶ 00160-0-291210
銀行▶中央労働金庫さいたま支店
普通預金6600705
問い合わせ▶認定NPO法人ハンズオン!埼玉 TEL048-834-2052
※寄付金には税制優遇措置があります。



福玉便りのお届け作業と一緒にや ってくださる方、大募集

4月24日(金)13:30-16:00ごろ
可能なお時間で。場所:埼玉労福協

たまたま時間あいてるよ、という方が、いらっしゃいましたら、ご連絡おまちしています。はじめての方も大歓迎…労福協048-833-8731まで。

